

## 【エクアドル経済：2017年3月】

### 1 EFTAとの通商協定交渉

3月3日、エクアドル貿易省は、欧州自由貿易連合(EFTA)との通商協定に関する第2回交渉会合が開催された旨のプレスリリースをHPに掲載した。

(1)2月27日から3月3日、寿府において、EFTAとの通商協定に関する第2回交渉会合が開催された。同会合では、市場アクセス、原産地規定、貿易に係る便宜、貿易擁護、サービス、競争性、持続的開発、法令・制度に係る手続き、紛争解決、技術面での障壁、衛生・検疫手段等のテーマについて話し合われた。

(2)同会合では、第1回会合においてEFTA側から提示があった協定案に対し、エクアドル側からの対案が示され、双方にとって都合の良いバランスのとれた協定締結に向け、相互理解の重要な進展が見られた。カリン・ブチエルEFTA側首席交渉官とウンベルト・ヒメネス・エクアドル貿易副大臣は、本年6月3日～6日にキトで開催予定の第3回交渉会合に向けたコミットメントが記載された議事録に署名した。

(3)エクアドルは、本年1月1日に発効したEUとの通商協定を補完するため、欧州西部の国々との通商規定構築を目指している。EFTA加盟国(スイス、ノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタイン)との通商協定締結により、新たな市場へのアクセスとエクアドルに対する新たな投資が期待される。

### 2 インフレ率(2017年2月)

国家統計局の発表によれば、2017年2月のインフレ率は0.20%であった。2016年2月から2017年2月までの年間インフレ率は0.96%であった。地域別ではグアヤキル市及びエスメラルダス市のインフレ率がそれぞれ0.5%及び0.4%と高く、マントア市及びキト市がそれぞれ0.02%及び0.01%と低かった。

### 3 対ベネズエラ通商枠組

3月16日、エクアドル貿易委員会(COMEX)は、部分的経済補完協定枠組の下でのエクアドル・ベネズエラ間の通商交渉結果を承認した。

(1)今後、恩恵を受ける主要輸出産品は、ツナ缶、パーム油、ガステーブル、薬品、ポリマー薄板、及びタイヤである。ベネズエラはパーム油の輸出先であり、パーム油の輸出額はエクアドルの非石油輸出総額の17.1%を占める。なお、薬品(9.7%)、タイヤ(6.0%)、魚粉(4.8%)がベネズエラ市場で需要がある。

(2)2013年～2016年にエクアドルはベネズエラ向けに863品目、年平均3.74億ドルを同枠組の下で無関税で輸出している。これに加え、今まで6%～35%の関税が課されていた840品目についても今後無関税となる。

(3)両国における2016年の非石油製品の貿易収支は、エクアドルが1.35億ドル

の黒字となっている。なお、対ベネズエラ輸出額は1.44億ドル、ベネズエラからの輸入額は880万ドルである。

#### 4 自動車販売台数(2017年2月)

3月15日、エクアドル自動車企業協会(AEADE)は、2017年2月の自動車販売台数を発表した。右によれば、2月の自動車販売台数は5,916台で、前年同月(4,092台)比45%増となった。バルデオン AEADE 事務局長は「2016年(最も自動車業界が影響を受けた年)の販売台数と比較すべきではない。本年もリセッションの影響を受けており、見通しは良くない」と述べた。なお、2014年2月の販売台数は8,751台、2014年2月は10,130台であった。

#### 5 FOODEX2107への出展

3月15日、エクアドル企業7社が日本で開催された FOODEX2107に出展、740万ドルの販売総額を見込んでいる。輸出された商品は、ドライフルーツ、トロピカルフルーツ、ブロッコリ、バナナ、チアシード、チョコレート等。日本へ輸出された主要品目はバナナで、2016年には前年比47.6%増の7,490万ドルを記録した。また、冷凍ブロッコリの輸出額も2016年は前年比24.6%増の3,380万ドルを記録している。

(了)